

2022年10月13日

2022年9月度市況

東京洋紙同業会（紙青会作成）

<印刷用紙A>

平判は学参テキスト関連が堅調に推移したのに加え、値上げ前の駆込み需要も見られたが、前年を若干下回った。

巻取は生損保、金融、チラシに動きがみられ前年を上回った。

（前年比 平判 97.9% 巻取 110.5%）

再生紙平判は入札案件の受注減少が続いている中、昨年並みの量が確保できた。

再生紙巻取は前年に引続き大口案件の受注があり、前年を大幅に上回った。

（前年比 再生上質平判 99.6% 再生上質巻取 225.4% 再生上質計 152.9%）

（前年比 印刷用紙A全体 100.0%）

（2019年比 印刷用紙A計 78.0%）

<A2 コート>

平判は旅行、イベント、カレンダー、学参のパンフレットで動きがみられ、グロス、マット共に前年を上回った。

巻取は通販、食品デリバリー、不動産で動きがみられ、グロス、マット共に前年を上回った。コロナ禍での行動制限が無かった事もあり、印刷需要は増加した。

（前年比 平判 109.2% 巻取 111.6% 全体 109.7%）

（2019年比 A2 コート計 77.8%）

<A3 コート>

学習塾、旅行、ドラッグストア、不動産の定期案件、イベントのスポットチラシ案件で動きがみられ、巻取は前年を大きく上回った。

（前年比 平判 94.1% 巻取 118.4% 全体 111.8%）

（2019年比 A3 コート計 94.3%）

<ノーカーボン紙>

コロナワクチン予診票の動きがあり、数量の問題で平判から巻取での作業にシフトしたこともあり、平判は低調に推移した。また、巻取は歳末商戦の申込書の動きや、価格修正前の製品在庫積み増しの動きもあり前年を上回った。

（前年比 平判 83.2% 巻取 104.1%）

<上質フォーム>

連続帳票は低調なものの、生損保、共済やコロナワクチン接種券の通知物、電力会社の料金改定の案内、旅行支援に関連した商品券の動きがみられ前年を上回った。

(前年比 103.4%)

<包装用紙>

特殊両更は役所向け封筒、一般事務用封筒に動きがみられず前年を大きく下回った。

(前年比 86.6%)

軽包装は紙媒体全体の数量の落ち込みにより、製本会社向けなど雑包装用途の動きが鈍く前年を若干下回った。

(前年比 96.3%)

両更晒は金融機関向け、一般企業向けに加えワクチン関係の封筒が引き続き好調で前年を上回った。

(前年比 116.5%)

色クラフトは一般企業向け社用封筒、金融機関向け封筒に動きがあり前年を上回った。

(前年比 114.2%)

純白ロールはクリスマス向けの包装紙に一部動きがみられ始めた。また、お彼岸や連休による人の動きも回復しており、低調であった前年を大きく上回った。

(前年比 140.6%)

包装紙全体でも 120.7%と前年を上回った。

<板紙>

コートボールは食品、菓子、土産物関係は比較的堅調であった。

特板はテイクアウト向けが安定しているが、POP は低調であった。

高板も出版用途、POP が不調であった。チップもエンタメやパズルなどの貼合品も低調であったが、片白などパッケージ関係は動きがあり全体的には前年を上回った。

(前年比 118.5%)